

	4. 職種	5. 校種	6. 職場実態をふまえた「学校の働き方改革」に関するご意見（200文字以内）	
1	教員	特別支援学校	休暇制度の使いやすい職場環境だと思います。行事が重なる時期は、とても忙しいです。勤務時間軽減の策をとっていただいても、結局仕事量は減らないので、行事の精選や簡略化は毎年の課題だと思います。	匿名希望
2	養護教員	小学校	フッ化物洗口にかかわる時間がかなりかかる。誤飲した場合対応しないといけないので、少し体調が悪くても、学校に残らないといけないと感じてしまう。	匿名希望
3	教員	小学校	本校は全校生合わせて45名程度の小規模校で年々児童数が減っているが、配慮の必要な子どもたちは、毎年増えている。クラス数減少で、正規の職員数を減らし、臨時的任用で定員枠を補っている。そのため正規の職員の負担が多くなってしまふ。教員数が児童数減少に伴い減らされ、一人が受け持つ仕事の多さに疲弊している。出張や提出書類などは他の学校と同じである。実情に応じた職員の配置で、仕事の量の軽減を。	匿名希望
4	教員	小学校	業務が多く残業や土日出勤が多いです。	匿名希望
5	事務職員	小学校	業務の削減、人員拡充を！再任用の短時間勤務等を活用するなど、働き方の幅を広げて、人員拡充に繋げていただきたい。どう考えても業務量に対して、1人のキャパがオーバーワークであり、対「人」に	匿名希望
6	教員	小学校	時代は、変わっているのに、日本の教育は、昭和のままです。プログラミング、外国語等様々な新しい負担はのしかかるのに減る業務がありません。児童の登下校指導、会計、保護者対応等は、もはや教員でなくてもできる業務です。教員は、子どもの指導のみの義務にすべきです。そうでなければ日本の教育は、どんどん低下していきます。	がんはろう！教員
7	教員	中学校	自分のことを優先できず責任感から仕事をやりきっている現実がある。働き方改革を進めようという声はあるが、生徒指導などなかなか難しいのが現実。	匿名希望
8	教員	小学校	本校では、下校時間や支援員の配備の見直しなどを通して、管理職や主に教務主任が率先して、働き方改革を進めてくださっています。一方で、県、もとい、所属自治体からの要望が多く、せつかく教員の業務時間の確保をしたのに、前述した上からの業務によって、結局あまり変化がないという状況です。	匿名希望
9	教員	小学校	どんな働き方をしたいのか？を、各々が考えることが大切では？帰宅時間や仕事従事時間にはばか目をつけていると、働く意味や目的がさすんでしまうのでは？	匿名希望
10	教員	小学校	登校指導から、給食指導、清掃指導、下校指導、保護者対応、生活指導と授業以外にも本当に多岐にわたる仕事があります。勤務時間削減を叫ばれていますが、勤務時間内には授業準備以外にも事務仕事や分掌の仕事など、終わりません。業務は、増えることはあっても、減りません。是非、業務改善	匿名希望
11	教員	小学校	現場では、支援を要する児童が本当に増えていると感じます。1人ひとりと丁寧に向き合うためには、少人数学級の実現が必要だと強く感じます。インクルーシブ教育を行う上でも、少人数学級の実現は不可欠ではないかと考えます。	匿名希望
12	教員	特別支援学校	産休、育休の教職員の代替教員を確保して、スムーズに引き継ぎが出来るように要望します。確保できないと現場の教師だけでは、子どもの対応が薄れてしまいます。よろしく願います。	匿名希望
13	事務職員	中学校	事務職員の賃金をあげるか定数を増やすかしないのであれば、今よりも業務を増やしてほしくないです。単数配置なので、休みも取りにくいです。組織的にカバーしてもらえないことはなく、休暇取得のために、事前や事後に超過勤務することが当たり前になっています。その超過勤務の時間外勤務手当も完全に支給されずにいます。	匿名希望
14	養護教員	中学校	「定額働かせ放題」反対！管理職は「休んでください」と言うけれど、これだけ多種多様の業務の中で、いつ休みがとれるのか。業務の質、量に見合った給料があれば、先生希望の若者も増え、現職の方々の負担も軽減すると思います。働き方改革の一番は給料アップ！	匿名希望
15	教員	中学校	子どもたちに接する時間の確保のためにも、アンケートなどの集計調査や、報告書類などはデータやWEBを利用するのが良いと思う。業務時間外に保護者と連絡を取る場合、どうしても私用の携帯電話などを使う場面がある。保護者の都合により、時間内での対応が難しい場合は、専用の携帯電話などで対応ができると有り難い。	匿名希望
16	教員	特別支援学校	働き方改革を進めるためには、日々の業務の削減、そのための人員拡充、伴って、学級の少人数化は必要だと感じています。予算のことがあるのは十分承知ですが、まずは環境を変えていなくては変わらないと感じます。	匿名希望
17	教員	中学校	現状、自分の子に満足に関わってやれない働き方しかできていない。コロナ禍で縮小、休止した行事などを、安易にもとに戻すべきではない。とにかく業務削減が必要。	匿名希望
18	教員	小学校	限られた勤務時間の中で、業務を終了することが難しく、また残業手当もつかない。また教師を目指す若者減ってきている。子どもたちは、日本の宝というのはまさしくだが、その日本の宝を育てる教師に時間と気持ちの余裕がなければ、子どもたちとの向かい合っていく時間が減る。業務を減らすことは難しいが分担できる組織や人員の確保が必要である。	匿名希望
19	教員	小学校	産休や育休、病気休暇の代替教諭がなかなか見つからず、安心して休めない状況が続いている。周りの職員のフォローでなんとか学校が回っている状況です。	匿名希望
20	養護教員	小学校	少しずつ紙媒体からデータになり印刷の手間が省けたり、会議もデータを閲覧する形のものも増えてきたり定時退庁日が月に1度あることで働き方改革の推進を感じています。しかし、多様化する児童対応や保護者対応、GIGA構想に関する研修などで結局トータルするとそんなに変わっていない実感があります。また養護教諭は欠勤すると保健室が不在になるので担任に比べ非常に休みを取りにくい実感があります。	匿名希望